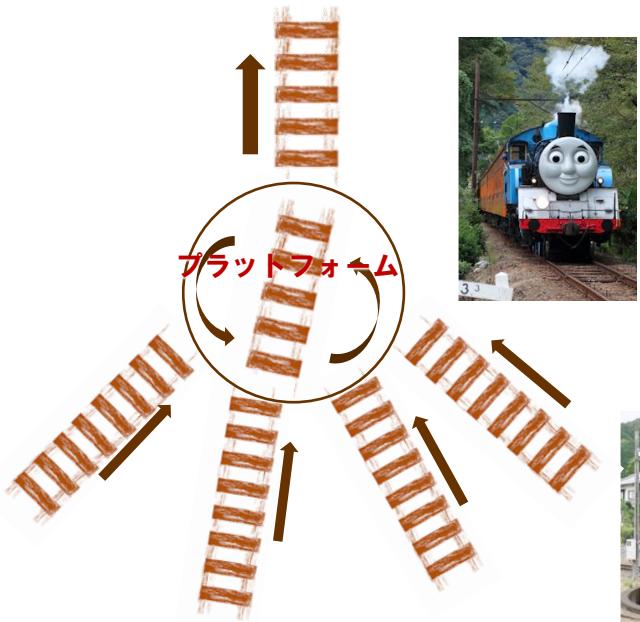


序論：3つのことについて知つて祈りましょう

1. プラットフォーム (Platform)

3つの超越 (御座、時空超越、237の光)

プラットフォームは、どこかに行くときに、かならず通らなければならない所です
(つながり)



機関車トーマスを見たことがありますか。

トーマスたちは、まっすぐの線路を走ってきます。
そして、線路がくるくる回る丸い場所のところに来
ると、回る線路が走ってきた機関車のほうに回って、
その丸い部分に乗ると、丸い部分が行くべき方向に
合わせてくれりと回ってくれるので、あちこちの
方向から集まってきた機関車が、ひとつの方向に向
いて進んでいくことができます。

この丸い部分が「プラットフォーム」です



学業、職業、産業、文化、すべてがプラットフォームを通
って神様に向かうべきです。

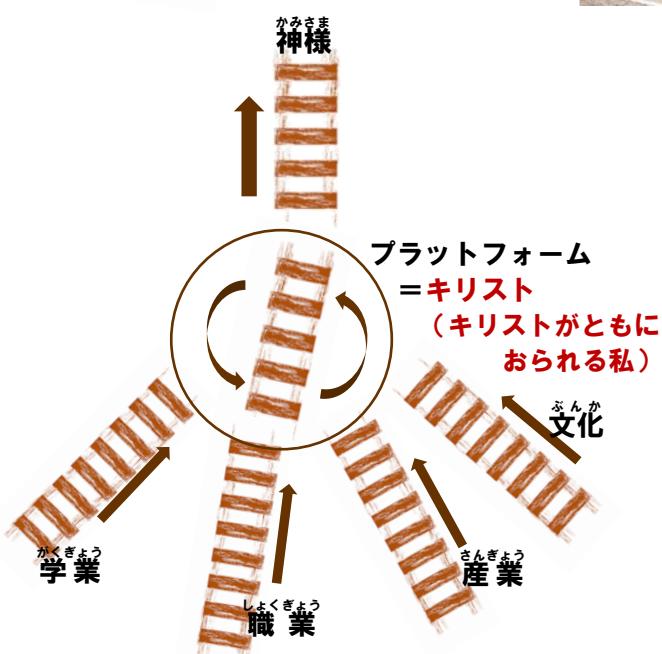
神様に向かうプラットフォームは、キリストです。

救われた神の子どもは、キリストとともにいるので、
私がプラットフォームです。

キリストとともにいる私を通して、すべてが神様に行きます。

いまはスマホひとつで、全世界のすべてのところに行けます。
そのスマホも、プラットフォームです。

ですから、救われた神の子どもの私たちひとりひとりが、
神様がともにおられる御座となり、
時空を超えた全世界の主人である神様がともにおられるので
私を通して全世界がつながります。
ひとしごと人、仕事、文化、すべてが私を通して神様とつながります。



御座：神様がおられるところ。キリストを通して「私の中に」おられます。心の中心に神様がおられるので御座の祝福は
すでに私にあります。他から御座の答えを探そうとする必要はありません。

時空を超える：時空を超えた神様がともにおられるので、「すでに私は」時空を超えた神の子どもになっています。

237光：すでにキリストによって「私の中に」おられる神様が237か国に光を放っておられます。

すでに成就した「御座、時空超越、237光」が私の中にあることを味わいましょう。

2. 物見の塔（見張り台） Watch Tower

(3つのいのち運動 : 神のかたち、神様のいのちの息、神様とともにいるエデンの園)



赤ちゃんが「たかい、たかい」と抱き上げてもらったら、自分の見えないところまで見えるので赤ちゃんはよろこびます。

世界一高いビルは、どこか知っていますか。
ドバイという国にある「ブルジュ・ハリファ」と呼ばれるビルです。高さは828メートル。地上206階だそうです。



高いところに立つと、空気がちがい、見えることが変わります。

しかし、私たちがそこから見えることは限られていて、高いところから下を見ても、小さいことは見えません。

いちばん高いのは「神様」です。神様は全世界を、すべての宇宙を見ておられます。
神の子どもの私は、神様の中にいると、いちばん高いところに立っています。(それが靈的サミットです)
そのように全世界を見ておられる神様のところにいて、私の目で見ようとしたら、なんにも見えません。
神様の視力で、この世界、人々、この世を見るべきです。

神様の目で見ると、「キリスト、みことば、福音の目で見ること」です。
私たちの中にイエス・キリストによる救いと恵みに対する感謝があふれて、「キリストによって救われた私」「キリストがなければ存在できない私」だと毎日告白できるなら、神様の目を持っていることです。

3つのいのちの運動

(神のかたち 神様のいのちの息 神様とともにいるエデンの園)

①神のかたち

「神のかたちであるキリスト」(Ⅱコリント4:4)と書いてあるように、イエス・キリストを主と告白して受け入れた私には、「神のかたちのキリスト」がおられるので、この回復しています。

②神様のいのちの息

千からびた骨のように、完全に死んでいた私の中にいのちのみことばが入ってきました。(エゼキエル37章)
そのことばは、人となって来られたイエス・キリストです。

キリストが入ってきたので、いのちのみことばが入って、すでに「生き物」として回復しています。

③神様とともにいるエデンの園

キリストによって、私の中に神の國が臨んでいるので、私の中にはエデンの園の祝福は回復しています。
(もちろん、新しい天と地は別に備えられているのですが・・・)

このようにすべてが回復した神様とともにいる位置から、全世界、人々、できごと、学校、仕事をその目で見ましょう。

Ⅱ列王6章で、エリシャのいたドタンの町をアラムの馬と戦車と大軍が取り囲みました。そのとき、エリシャのしもべが「ああ、ご主人さま。どうしたらよいのでしょうか」と言います。しかし、エリシャは「どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」と祈ります。その目が開かれたら、アラムの軍勢よりももっと多い「火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた」のが見えたのでした。

私たちの限界の目、知恵、考へで世界を見ると、靈的事実が見えませんが、すでに回復された、神のかたちのキリスト、神の息のみことば、神の國を毎日味わって世界を見ると、靈的事実が見えるようになります。

3. 灵的アンテナ Antenna

(3つの空前絶後)

神様との灵的疎通 (礼拝+みことば+祈り=聖靈の満たし)

アンテナの目的(役割)は、疎通です。

私たちは神様と疎通できなければなりません。

私が灵的アンテナとして神様と毎日、毎瞬間の疎通をすべきです。

灵的疎通するためには

礼拝に勝利すること、礼拝を通して私たちにくださるみことば、そして、祈りの3つがいちばん大事です。



だれもいなくて、ひとりで、知らないところに行ってしまい、おそろしいことが起きたときに、スマートが電池切れになっていたり電波が届かないなら困るでしょう。

私たちも礼拝を通してみことばを受けないなら、電池がないと同じです。ギリギリのまま、電池がいつなくなるのか緊張しつづける生活です。

みことばを受けたのに、黙想せず、祈らないと、電池は90%あっても、電波が届かないところにいるのと同じです。

ですから、受けたみことばを黙想して、そこから一週間、神様がどのように導かれるのかを祈りながら、毎日、私の導きを祈りましょう。

礼拝を通して、みことばをもらって、默想して祈るとき、聖靈の満たしが与えられます。

そうすれば、聖靈の導きによって、毎日、一週間を過ごすことができます。

ヨハネ15:5~7

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。だれでも、もしわたしにとどまっているなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます。

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。

私たちがすることは、ただ礼拝に勝利して、ぶどうの木である神様に、キリストにくつついでいるだけです。なにかをしようとかんぱる必要はありません。みことばの中で祈りながら、聖靈の満たしによって導かれる人生になるように祈ります。



物見の塔、神様にアンテナを立てていましょう。くつついで、とどまっているれば、それだけで十分です。アンテナがないと、聞くことも、他のところに伝えられません。礼拝に勝利して、アンテナを立てておきましょう。

12月1か月間、朝、昼、夜(できなければ一日1回)は必ず默想しましょう。

プラットフォームとして、私は神様にすべてを導いてもらう人となっているのか。

私の中に御座、時空を超えた神様がともにおられることを黙想しましょう。

物見の塔(見張り台)として、私が世界を見るのではなく、神様が私を抱き上げてくださった

ところで、神様の目ですべてのこと、出会いも見ましょう。

靈的アンテナとして、毎週、講壇を通して語られるみことばをいのちとして握りましょう。

私たちが握るのではなく、キリストに集中すれば、みことばが私たちを握ってくださいます。勝利する12月になりますように。